



ると言われています。担当教諭は、次世代教科書を持つ双方向性を学習指導に生かしたいと言っていますが、デジタル教科書に対する見解と導入についての考えをお伺いします。

**教育長**  
デジタル教科書が実現すれば、教科書の中身、内容が変わり、画面の上に文字、写真、音声、動画がふんだんに取り入れられた教科書となります。

メリットは教科書が一冊で良いし、音声とか動画が学習効果を高める反面、目が疲れる、書く学習が身につかないなど課題が出てきます。

議論は始まったばかりで、時間をしっかり取って、国、県が教育関係者で十分検討していくべきだと思っております。

**NIE(学校で新聞を教材に利用すること)への取り組みは**

一山議員

新年度から全国の小学校で実施される新学習指導要領に新聞の活用が明記され、教育現場で注目を集めています。全国学力テストと学習状況調査によると、新聞やテレビのニュースに関心のある児童ほど学力テストの正答率が高いと言われています。考える力や読解力を育み言語力アップにもつながる生きた教材としてのNIE授業への計画、新聞活用についての見解と考えをお伺いします。

**教育長**

小学校では、言語活動での充実がより一層重視されるようになり、新たに新聞活用が取り上げられることになって、効果的に活用していくには、徳島新聞と牟岐町教育委員会が公立学校での新聞利用等に関する協定を結んではどうかという

話もあり、検討しています。

**町長の今後の政治姿勢は**

一山議員

次期町長選挙に再出馬するにあたり、これまでの四年間取り組んでこられたこと、そして今後の施政方針をどのように持っておられるのかお伺いします。

**町長**

四年間が過ぎ、私なりに誠心誠意、努力精進したつもりですが、地方自治の厳しさ、経験不足等、今更痛感する次第です。

合併破綻以後の牟岐のあり方については、一町民としては、色々考えていましたが、この立場になると、違った制約もあったことは事実です。

まちづくりのキャッチフレーズは、あったかい町、安心な町、すてきな田舎町ということを考えています。

**健康管理センター(鬼ヶ岩屋温泉)今後の取り組みについて**

榎谷 千重子 議員

公募の結果、一件の応募もなく、現在の企業に継続をお願いせざるを得ない状況ではないかと思いますが、本日配布されました資料で見ますと、四月一日から六月三十日と三ヶ月の指定と、短期間となっています。

今後の審議はどうなのか、また、委託料三百万円を三ヶ月に充てるとの説明でしたが、年間一千二百万円のもなく、現在の企業に継続をお願いせざるを得ない状況ではないかと思いますが、温泉を利用される方には、温泉でなくても良い、これからも続けて欲しいという多くの声がかかります。この町民の声に添えるよう継続の方向で営業ができるのか、現在の進捗状況を、お聞きします。



健康管理センター